

顧客事例3 日用品・雑貨メーカー

見積依頼書処理時のマスタ照合～データ転記を自動化

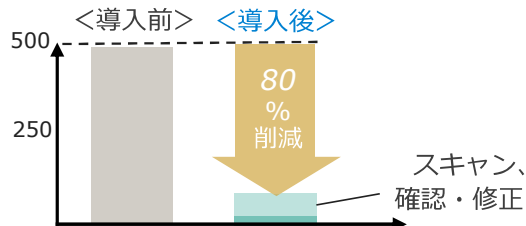


特徴

- 受領した帳票のOCR処理後、必要なデータを所定の帳票に自動で転記します。
- 各種マスタデータとの突合処理も自動で実施可能です。結果的に、ヒューマンエラーの低減と、大幅な業務効率化が見込まれます。

効果

- 年間480時間工数を削減！



お客様の声

- 手作業での入力が非常に手間であったため、自動化ができて助かっている。
- データ突合処理まで自動化したことで、ミスの発生頻度が明らかに減った。最終のデータ確認も軽微なチェックで済む。

顧客事例3 日用品・雑貨メーカー

参考：非定形帳票の読み取りについて

▼サンプル帳票

OCR箇所

データ入力箇所

見積依頼書		AAAA商事株式会社	
パート出荷依頼書		本部記入欄	
受付番号	12345678	受付日	2024/4/23
発注元	お客様	依頼理由	賞借
理由詳細	キャリーケースの鍵紛失のため。		
鍵番号：KEY9999		※パターン1	
店鋪入力日		2024/4/23	
店鋪名		サンプル町駅前店	
店鋪Tel		00-0000-0000	
店鋪住所		〒999-9999 東京都港区1 ABCビルB1F	
店鋪担当者		山田 太郎	
商品JAN		999-99-99999999	
商品名		※パターン2	
規格名		デミック	
単体番号			
納入日		お届け日	
お届け先		目店	
お届け先		氏名・店	
Tel			
備考			

No	パーツJAN/名称/規格	数量	原価単価	売価単価
1	00000 00000	1	900	1000
2	キャリーケース用鍵	1	900	1000
3				
4				
5				
6				
小計		1	900	1000

希望納期		備考	
		お取引先様、お見知り願います。 対応可能です。 よろしくお願いたします。 XYZコーポレーション株式会社	

メーカー出荷確認欄	
メーカー	XYZ産業株式会社
メーカーFAX	99-9999-9999
依頼日	2024/4/23
出荷日	2024/4/30
出荷方法	a. 荷倉便 b. 郵送 c. メール便 d. センター便



非定形帳票の読み取りについて

AI-OCR×RPAの活用によって、多様な業務を自動化することが可能です。
結果的に、現行の業務をそのまま自動化することが可能です。

【具体例】

パターン①

帳票内に鍵番号の記載がある場合は、商品マスタ中の「**鍵番号**」を参照し、必要なデータを転記する

パターン②

鍵番号の記載がない場合は、帳票内の「**商品JAN**」を取得
その後、商品マスタを参照し、必要なデータを転記する

①

見積依頼書
受付番号：12345678
店舗名：サンプル町駅前店
鍵番号：KEY9999

②

見積依頼書
受付番号：00000000
店舗名：本店
商品JAN：000-00-00000000

商品マスタ

鍵番号	商品JAN	原価	売価
KEY9998	000-00-000000	900	1000
KEY9999	999-99-999999	920	1020
...	...	...	...